

## 2014年度 高等学校 重点目標

### ◎ 民族教育に関して

- 生徒の国語力向上に対して、国語授業をより一層充実させるとともに、日常生活の中で国語使用機会を増やすように努める。
- 現代社会で、失われつつある礼儀や作法、また日常生活の中での挨拶や言葉遣いを、韓国伝統文化に関連させて指導の向上に努める。
- 国慶日の講話等の行事教育、国史・在日韓国人形成史の授業等を通じ民族意識・矜持の向上・定着に努める。

### ◎ 学習面に関して

- 生徒が日々の授業に興味・関心を持って参加できるように、授業準備・授業研究・教材研究に努める。
- 生徒の適性・能力を正確に判断し、より効果が期待できる学習指導方法の開発に努める。
- 学内に留まらず、学外からも生徒にふさわしい教育手法を積極的に取り入れて、生徒の学力の向上を図り進路保障に努める。
- 学習指導や進路に関する正確な情報を積極的に生徒や保護者に提供し、生徒の学習意識向上に努める。

### ◎ 人権意識に関して

- 生徒の人権意識の確立・向上のために、教職員が研修や研究会などに積極的に参加し研鑽を積むとともに、生徒の実態・行動を把握して、教職員が情報を共有し校内の人権意識向上に努める

### ◎ 学校生活に関して

- 学校生活でのルールや共同生活をする上でのマナーを守る指導を徹底する。
- 校内美化に対する意識を高め、教育環境の整備に努める。
- 公共物を大切に扱う気持ちを持たせる。
- 生徒の心のケアを目的とするコミュニケーション機会の増加。

### ◎ 中高連携教育に関して

- 中高6年間のカリキュラム・年間行事などの研究を継続的に進める。
- 中高連携教育の推進を図り、より充実した方向性の模索に努める。

## 2014 학년도 고등학교 중점 목표

### ◎ 민족교육에 관하여

- 학생들의 국어력 향상을 위하여 국어수업을 한층 더 충실하게 하는 동시에 일상생활 속에서 국어사용 기회를 늘리도록 노력한다.
- 현대사회에서 상실되고 있는 예의범절, 또 일상생활 속에서의 인사나 말씨를 한국 전통문화와 관련되도록 지도력 향상을 위해 노력한다.
- 국경일 관련 강의 등의 행사교육, 국사·재일 한국인 형성사의 수업을 통해 민족의식·공지의 향상·정착을 위해 노력한다.

### ◎ 학습면에 관하여

- 학생들이 매일 수업에 흥미·관심을 가지고 참여할 수 있도록 수업 준비·수업 연구·교재 연구를 위해 노력한다.
- 학생의 적성·능력을 정확하게 판단하고 보다 큰 효과를 기대할 수 있는 학습 지도 방법의 개발을 위해 노력한다.
- 학교 내에서 만이 아니라 학교 밖에서도 으뜸이 될 수 있도록 학력 향상을 위해 적극적으로 노력한다.
- 학습 지도나 진로에 관한 정확한 정보를 적극적으로 학생이나 학부모에게 제공하여 학생의 학습 의식 향상을 위해 노력한다.

### ◎ 인권의식에 관하여

- 학생의 인권의식 확립·향상을 위해서 교직원이 연수나 연구회 등에 적극적으로 참가해 탐구하는 동시에 학생의 실태·행동을 파악하고 교직원 간의 정보 공유를 통해 교내 인권의식 향상을 위해 노력한다.

### ◎ 학교생활에 관하여

- 학교생활의 규칙이나 공동생활을 하는데 필요한 매너를 지키는 지도를 철저히 한다.
- 교내 미화에 대한 의식을 높이고 교육환경 정비에 힘쓴다.
- 공공기물을 소중히 다루는 마음을 키운다.
- 학생의 마음의 케어를 목적으로 하는 커뮤니케이션 기회의 증가.

### ◎ 중고 연계 교육에 관하여

- 중고 6년간의 교육 과정과 연간 행사 등의 연구를 지속적으로 진행한다.
- 중고 연계 교육의 추진과 더불어 그 성과를 검증하여 충실히 할 수 있는 방향을 모색하기 위해 노력한다.

## 2014年度 建国高等学校学校自己評価(生徒および教員)

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

番号	設問	生徒集計結果										教員 自己評価
		A	B	C	D	A	B	C	D	A+B	C+D	
1	本校創立の精神と歴史を理解している。	22	44	24	11	22%	44%	24%	11%	65%	35%	4.0
	본교 창립 정신과 역사를 이해하고 있다.											
2	本校の教育理念・目標を理解している。	16	36	36	13	16%	36%	36%	13%	51%	49%	3.3
	본교의 교육이념과 목표를 이해하고 있다.											
3	学校に誇りを持っている。	16	47	25	13	16%	47%	25%	13%	62%	38%	3.3
	학교에 대한 긍지를 가지고 있다.											
4	毎時間の授業に集中できている。	12	53	27	9	12%	52%	27%	9%	64%	36%	2.7
	수업 시간마다 집중하여 최선을 다하고 있다.											
5	授業は工夫されていてわかりやすい。	5	39	38	19	5%	39%	38%	19%	44%	56%	4.0
	수업은 잘 연구하여 가르치고 있으며 이해가 잘 간다.											
6	授業のわからないところなどについて質問しやすい環境である。	18	37	28	18	18%	37%	28%	18%	54%	46%	4.0
	수업 중 모르는 부분이 있을 때 질문하기 쉬운 환경이다.											
7	進路に関する情報は、十分に手に入れることができる。	15	44	24	18	15%	44%	24%	18%	58%	42%	3.3
	진로에 관한 정보는 충분히 얻을 수 있다.											
8	進路希望に応じた授業を選択することができる。	19	31	31	20	19%	31%	31%	20%	50%	50%	3.3
	진로 희망에 맞는 수업을 선택할 수 있다.											
9	進路に関する相談をしやすい環境である。	20	42	26	13	20%	42%	26%	13%	61%	39%	3.4
	진로에 관한 상담을 하기 쉬운 환경이다.											
10	学校行事は充実していて楽しい。	21	39	20	21	21%	39%	20%	21%	59%	41%	4.0
	학교행사는 알차고 즐겁다.											
11	学校行事は、中高の6年間を通して適切に配置されている。	12	43	33	13	12%	43%	33%	13%	54%	46%	3.3
	학교행사는 중·고 6년 간을 통틀어 적절하게 안배되어 있다.											
12	教師の指導は校則に従って適切に行われている。	14	48	26	13	14%	48%	26%	13%	61%	39%	4.0
	교사의 지도는 학교규칙에 따라 적절하게 수행되고 있다.											
13	教師は生徒の人権を尊重した態度で生徒に接している。	14	40	30	17	14%	40%	30%	17%	53%	47%	3.3
	교사는 학생의 인권을 존중하는 마음으로 학생을 대한다.											
14	教師は生徒一人ひとりの性格や長所・短所をよく把握している。	11	40	34	16	11%	40%	34%	16%	50%	50%	4.0
	교사는 학생 한 사람 한 사람의 성격이나 장·단점을 잘 파악하고 있다.											
15	悩みや相談を話しやすい環境である。	16	30	33	22	16%	30%	33%	22%	46%	54%	3.3
	고민을 말하거나 상담을 하기 쉬운 환경이다.											
16	学校生活の中できちんとあいさつをしている。	47	32	14	8	47%	32%	14%	8%	78%	22%	4.0
	학교생활 안에서 인사를 제대로 하고 있다.											
17	目上の人にていねいな言葉遣いをしている。	40	40	12	9	40%	40%	12%	9%	79%	21%	4.0
	윗사람에게 공손한 말씨로 말하고 있다.											
18	校内の美化・清掃に積極的に取り組んでいる。	21	43	27	10	21%	43%	27%	10%	63%	37%	3.3
	교내 환경미화와 청소에 적극적으로 참여하고 있다.											
19	校内の施設・備品を大事に使っている。	34	40	20	7	34%	40%	20%	7%	73%	27%	4.0
	교내의 시설과 비품을 소중히 사용하고 있다.											
20	民族教科(国語・国史等)に熱心に取り組んでいる。	29	42	23	7	29%	42%	23%	7%	70%	30%	4.0
	민족교과(국어·국사 등)를 열심히 하고 있다.											
21	国語の実力が伸びていることを実感できる。	19	42	27	13	19%	42%	27%	13%	60%	40%	2.7
	국어 실력이 향상하는 것을 실감할 수 있다.											
22	記念講話などで話される内容をよく理解できている。	13	32	32	21	13%	33%	33%	21%	46%	54%	2.7
	기념훈화 때 그 내용을 잘 이해할 수 있다.											
23	教職員の国語能力は十分である。	17	38	27	19	17%	38%	27%	19%	54%	46%	0.7
	교직원의 국어 능력은 충분하다.											

2014年度 建国高等学校学校評価アンケート(保護者)

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

番号	設問	A	B	C	D	A+B	C+D
1	学校は教育方針をわかりやすく伝えている。	32%	53%	16%	0%	84%	16%
	학교는 교육방침을 알기 쉽게 전달하고 있다.						
2	学校が保護者に出す文章や事務連絡等は適切である。	40%	47%	11%	2%	88%	12%
	학교가 보호자에게 보내는 문서나 사무 연락 등은 적절하다.						
3	生徒は学校に行くのを楽しみにしている。	49%	32%	18%	2%	81%	19%
	학생은 학교에 가는 것을 즐겁게 생각하고 있다.						
4	生徒の学習の状況を懇談等を通じてよく知ることができる。	28%	54%	18%	0%	82%	18%
	학생의 학습 상황을 간담 등을 통해서 잘 알 수 있다.						
5	生徒は授業がわかりやすいと言っている。	14%	42%	39%	5%	56%	44%
	학생은 수업의 내용이 이해가 잘 된다고 한다.						
6	生徒は授業後の学習活動にも積極的だ。	33%	46%	19%	2%	79%	21%
	학생은 수업 후의 학습활동도 적극적으로 한다.						
7	進路に関する情報は、十分に手に入れることができる。	18%	37%	42%	4%	54%	46%
	진로에 관한 정보는 충분히 얻을 수 있다.						
8	進路希望に応じた授業が用意されている。	16%	44%	35%	5%	60%	40%
	진로 희망에 맞는 수업을 선택할 수 있다.						
9	進路に関する相談をしやすい環境である。	24%	41%	34%	0%	66%	34%
	진로에 관한 상담을 하기 쉬운 환경이다.						
10	学校行事の内容は充実しているようだ。	39%	54%	5%	2%	93%	7%
	학교행사의 내용은 알차다.						
11	学校行事は、中高の6年間を通して適切に配置されている。	33%	56%	9%	2%	89%	11%
	학교행사는 중· 고 6년 간을 통틀어 적절하게 안배되어 있다.						
12	教師の指導は校則に従って適切に行われている。	28%	60%	11%	2%	88%	12%
	교사의 지도는 학교규칙에 따라 적절하게 수행되고 있다.						
13	教師は生徒の人権を尊重した態度で生徒に接している。	28%	61%	11%	0%	89%	11%
	교사는 학생의 인권을 존중하는 마음으로 학생을 대한다.						
14	教師は生徒一人ひとりの性格や長所・短所をよく把握している。	30%	49%	19%	2%	79%	21%
	교사는 학생 한 사람 한 사람의 성격이나 장·단점을 잘 파악하고 있다.						
15	生徒が悩みや相談を話しやすい環境である。	19%	47%	32%	2%	67%	33%
	학생들이 고민을 말하거나 상담을 하기 쉬운 환경이다.						
16	生徒は学校生活の中できちんとあいさつをしている。	49%	49%	2%	0%	98%	2%
	학생들은 학교 생활 안에서 인사를 제대로 하고 있다.						
17	生徒は目上の人にていねいな言葉遣いをしている。	44%	51%	4%	2%	95%	5%
	학생들은 윗사람에게 공손한 말씨로 말하고 있다.						
18	校内の美化・清掃が行き届いている。	18%	67%	12%	4%	84%	16%
	교내 환경미화와 청소는 제대로 되어 있다.						
19	生徒の友人関係は良好である。	42%	54%	4%	0%	96%	4%
	학생과 친구들의 관계는 양호하다.						
20	民族教科(国語・国史等)への取り組みに満足している。	37%	51%	11%	2%	88%	12%
	민족교과(국어/국사)에 대한 지도에 만족하고 있다.						
21	生徒の国語の実力が伸びていることを実感できる。	30%	44%	19%	7%	74%	26%
	학생의 국어 실력이 향상하는 것을 실감할 수 있다.						
22	教職員の国語能力は十分である。	32%	51%	12%	5%	82%	18%
	교직원의 국어 능력은 충분하다.						

2015年5月22日

学校法人白頭学院  
理事会・評議員会 貴下

学校法人 白頭学院  
建国高等学校  
学校関係者評価委員会

## 2014年度 学校関係者評価

### ○学校関係者評価実施について

- ・日時：2015年3月26日
- ・場所：白頭学院 会議室
- ・学校関係者評価委員会人員構成(参加者)： 3名  
金愛子 (PTA高校会長)  
徐忠文 (PTA高校副会長)  
李鐘建 ( 高校教頭 )

### ○学校関係者評価内容

：生徒・保護者のアンケート並びに、教員による自己評価を踏まえ作成された学校の自己評価に対して、その妥当性を評価し、また、改善法案などの意見交換を実施。

- ・ 学校評価に関して

別紙参照

目指すべき学校像	国際社会に生きる人材育成を最高の目標とし、人格の完成、豊かな情操を育み、探求心旺盛な自主的・自律的な精神に満ちた心身共に健全な人間育成に期する。
重点目標	A 学校の教育理念や歴史を理解し、学校に誇りを持つ。 B 自らの進路を主体的に考え、学習に生かすことができる。 C 生徒にとってかけがえのない学校生活であることを考える。 D 教育環境に対し、常に最高のサービス提供の意識を持つ。 E 民族教育の意義や国語（韓国語）を学ぶ礎を培う。

達成度	A	ほぼ達成 (80%以上)
	B	概ね達成 (60%以上)
	C	変化が見られる (40%以上)
	D	不十分 (40%未満)

達成度は生徒アンケートで、「よく当てはまる」「やや当てはまる」の数値(%)の合計で表す。

年度目標		年度評価		年度評価			
番号/アンケート番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
A	1.2.3	創立70年を控え、創立者の志とそれを支えた多くの在日たちがこの学校を支えてきた。70年が過ぎた今もその思いが引き継がれている。「自分達はそんな学校で学んでいるという自負心をぜひ持って欲しい。」これが、この学校を支えてきた人々の思いである。一昨年から始まった校舎再建築工事も終わろうとし、学校は再スタートの時期を迎えている。しかし、その最中を過ごした生徒達は、学校生活の中で「不自由さ」を痛感した時期でもある。昨年度のアンケートから8割程度の生徒は学校に対して「誇り」を感じており一層の努力が必要である。	生徒自身が学校設立の背景を理解し、誇りを感じることができる取り組みの実施。 ・創立記念講和、4.24記念講話、解放記念講和等の学校創立の歴史的背景になる記念講和の講和の内容検討。 ・2004年に発見された「幻のフィルム」の有効的な利用方法の実施。	・「学校に誇りを感じる」生徒が2/3を超える。 ・「学校設立」背景を理解する生徒が2/3を超える。 ・本校が目指す生徒像を理解する生徒が2/3を超える。	・校舎再建築工事期間中のため校内施設を十分に活用することができず、各記念講話等の時間も十分に確保できなかった。そのため昨年よりも低い評価が出た。 ・生徒達が団結心や一体感を感じ、学校への誇りを感じる行事の一つである体育祭や文化祭が例年のように行うことができなかった。 ・記念講和以外にも「在日史」の授業においても民族学校設立過程を授業で展開し、理解を深める努力を行った。	B	・学校設立に関わる記念講和の時間を確保するために、総合学習の時間の利用を検討し、落ち着いた環境の中で行事を進行する。 ・学校設立当時を記録した「幻のフィルム」を活用するとともに、在日歴史資料館と連携して、歴史資料からも困難な時代、困難な環境の中での創立であったことを再確認する。 ・校舎再建築工事のために、充分に実施できなかった体育祭、文化祭等の生徒主体の行事を、生徒達にしっかりと時間をかけて計画をつくらせ、連帯感あふれる行事になるように指導する。
B	7.8.9	ここ数年、韓国、日本を含めて進路状況の実績は向上しており、生徒達の進学意欲は学年が進むにつれて高まる傾向がある。学校は例年、進路説明会、大学進学説明会、職業別ガイダンス等を実施して生徒の進路選択の支援を行って来た。しかし、昨年度のアンケートから進路選択に安心感を持つ生徒は7割弱に留まっている。進学意識の向上は、日々の学習態度、意欲に反映するため、早い段階で進学意欲を高めることが重要であり、学力の向上に繋がる。	進路希望実現にむけた計画的な取り組み ・正確で的確な進路情報の伝達 ・3年間を通じた進路計画の整備 ・進路説明会、大学説明会、職業別ガイダンスの充実 ・各種説明会の早期実施 ・模擬テストの有効活用	・計画的、継続的な進路指導計画を明示して実施する。 ・各種説明会、ガイダンスを計画的に実施して進学意識を向上させる。 ・総合クラス生徒の模擬テスト参加を奨励する。	・例年通りの指導であったが、アンケートから進路指導に安心感を感じているは6割を下回った。特に生徒の希望に対応できていない結果となり、実際の進学状況（合格状況）も例年の実績に及ばなかった。 ・工事期間中のため進路指導室が機能せず、過去問等の入試関係資料の提供が例年のようにできなかった。 ・保護者の説明会参加率が高くなった。	C	・生徒の学習意欲を引き出す工夫を、計画的に継続的に案出する。 ・生徒の進学意識、学習意識向上を目的として説明会、ガイダンス以外にさまざまな行事を導入する。大学見学会、大学模擬授業、専門学校講師による実技体験、第一線で活躍する社会人による講演等の実施。 ・卒業生による受験体験談や効果的な受験対策等の講話の実施。
C	4.5.6.10.11.12.13.14.15.16.17	昨年のアンケートから、概ね生徒達は本校の教育内容に信頼を置き、学習活動に取り組んでいる。しかし、生徒の多様な希望に学校が応え切れていない部分があることや、思春期の多感な世代の心の動揺に対するケアにも不十分さもあることがはっきりした。学力面では補習授業、予備校講師による入試対策、学校カウンセラー、講演会や体験学習等により不十分さの一部を補填する対策を行っているが、その効果がはっきりと見えていない。生徒に最も近い担任や教科担当の指導力、授業力の向上が最も不可欠な部分である。また、本校の教育の特色にも関わる国際化教育にも関連した学校行事を通じて、生徒達が自ら体験し、行動する環境づくりに取り組む必要がある。	確かな学力の育成と授業改善の推進 ・各大学、専門学校のオープンキャンパス参加の奨励 ・補習授業の充実と強化	・生徒の授業満足度80%以上を目指す。 ・アンケートによる改善点の見直し ・少人数制を生かした授業展開を強化する。 ・50%以上の生徒が教員の授業の「マンネリ」を感じている。	・アンケートから「分かりやすい授業」と応えた生徒は44%に留まった。授業中に分からないところを質問しづらいと考える生徒が50%を越えている。 ・校内共有ホルダーにて情報を集約して常時閲覧可能な環境をつくった。	C	・定期的な研究授業の実施により、教員相互の教授方法の検討と意見交換会を実施する。 ・授業に積極的に取り組み、学力向上に意欲的な生徒の割合を増やし、教員も教材研究に専念できる環境をつくる。
D	18.19	一昨年から始まった校舎再建築工事の期間中であつたため、生徒達は騒音とほこりに悩まされる状態が続いた。昨年のアンケートでは8割程度の生徒は老朽化した校舎であつたが美化意識を向上させることができていた。	安全・安心で規律正しい学校生活づくりの推進 ・登下校時マナー指導。 ・人権意識の向上 ・工事期間中の校内安全点検 ・生徒の心の動揺の把握	・学校や教員を信頼する生徒を増やす取り組みを行う。 ・登校指導を計画的に行いマナー意識を高める。	・80%ほどの生徒が挨拶や正しい言葉使いができていると感じている。 ・登校指導を拡充して服装指導を強化し、改善が見られた。	B	・外部講師を招き、防犯・薬物・SNS等の講演や体験授業を行い、安全への意識を向上させる。 ・生徒の心の動揺を知るためのアンケートを定期的に実施する。 ・担任の生徒懇談機会を増やす
E	20.21.22.23	本校は民族学校として、その教育の柱に言語教育である韓国語教育を掲げている。英語を含め韓国語の学習は国際社会に通じる道であることは生徒達も認識している。昨年の生徒アンケートからも7割以上の生徒は本校の韓国語教育を信頼し、積極的な学習活動を展開している。特に近年の生徒の韓国語習得スピードには目を見張るものがある。学校はこのような生徒の意識をよく理解して、人格形成にまで結びつける努力が必要である。	学校行事による人格形成の充実 ・工事中のため文化祭、体育祭の校外での実施。 ・交換留学の奨励 ・姉妹校との交流強化	・行事内容の精査から行事への期待度を増やす。 ・交換留学参加生徒の増員。	・「学校行事は充実している」と応えた生徒がはじめて6割を下回った。 ・体育祭、文化祭を校内での実施を望む生徒が大半であった。	B	・新校舎完成により生徒の美化意識は向上するが、校内美化がもたらす効果を再認識させる。 ・清掃担当箇所確認の徹底と清掃方法のマニュアル化を推進する。 ・全員清掃日を強化して美化への連帯感を強化する
		韓国語によるコミュニケーション力の向上に努める。 ・初級班は3割以上を、中級は6割以上を韓国語で行う。 ・校内韓国語弁論大会出場者の増員。 ・校外韓国語スピーチ大会エントリーの増員	・初級・中級クラス生徒の韓国語会話率を1年で30%づつ向上させる。 ・高校3年初級クラスでの韓国語聞き取り能力を40%を目標にする。	・アンケートから自身の韓国語力に満足している生徒は6割強になり、指導教員も生徒の努力を賞賛している。 ・韓国語に関心を持つ生徒が多くなり、普段でも生徒どうしの韓国語による会話の場面がよく見られた。	・韓国語能力試験初級の合格率は低下したが、全員参加のためやむをえない。むしろ、学習を始めて1年未満の生徒の中に初級合格者が出たことは賞賛に値する。 ・中級、上級は学習の成果を試験で発揮した	B	・韓国語によるコミュニケーション力には単語力が必須条件のため、校内韓国語単語試験合格率を向上させ、全員が1年間で3級以上の合格を徹底する。 ・韓国の姉妹校交流に参加する生徒を増員して、実際に韓国語を使う機会を増やす。 ・韓国語能力試験は10月が全員受験で、4月は任意である。受験料の問題はあるが、受験の機会を増やし、意識の向上に繋げたい。 ・韓国の姉妹校への交換留学参加者を増員する。

学校関係者評価	実施日 2015年 3月 26日
学校関係者の意見・評価	・学校評価のアンケートは生徒と保護者で質問事項を別々にするほうがよいのではないかと。生徒たちの授業に関するアンケート結果の低さが大変心配である。生徒の否定的意見が38%になっている。教員の授業に対する工夫等をぜひ期待したい。 ・進路に対する(高校3年生)生徒の評価が高いことは評価できるが、生徒が内面に抱える悩み等の解決に対する信頼感が低いことを学校現場で検証が必要である。 ・アンケートNo16・17の生徒の評価が高いことに安心感を覚えるが、さらに向上するよう努力をお願いしたい。 ・生徒たちは、教員の韓国語力が低いことを感じている。教員も韓国語力が向上する取り組みを行っていただきたい ・生徒たちの友人関係や学校に対する親密だが高いことは、高く評価したい。そのベースができていない「建国」だからこそこ次に繋がれることであるが、この点を授業や進路指導に役立てて欲しい。 ・全体を見て、発信する側と受け取る側の思いに「ずれ」を感じる。これは進路指導にも繋がる結果となるのではないかと。